

議事録

会 議 名 称	第1回 庁内ネットワーク更新業務実施事業者公募型プロポーザル選定委員会
開 催 日 時	令和8年4月22日（水） 午前10時
開 催 場 所	守口市役所本館4階 行政会議室
委員出席者	瀧口委員長（総務課長） 村居副委員長（契約課長） 渡邊委員（総合窓口課長） 宮崎委員（健康推進課長） 酒田委員（教育総務課長）
事 務 局	行財政改革・DX推進課 大下課長、藤原課長代理、五十嵐主任、松尾
議 事	1 開会 2 実施要領、仕様書、審査要領について 3 その他連絡事項 4 閉会
会 議 資 料	・ 庁内ネットワーク更新業務実施事業者公募型プロポーザル実施要領（案） ・ 庁内ネットワーク更新業務実施事業仕様書（案） ・ 庁内ネットワーク更新業務実施事業者公募型プロポーザル審査要領（案）
議事録の作成方法	要点筆記

1 開会	
委員長	・ 開会の挨拶 ・ 委員のうち出席者5名、欠席者0名により定足数の出席を確認 ・ 議事の確認
2 実施要領、仕様書、審査要領について	
事務局	・ 庁内ネットワーク更新業務の概要についての説明。 ・ 「実施要領」「仕様書」「審査要領」の説明
【実施要領、仕様書、審査要領に関する質疑応答】	
委 員	契約期間の記載だが、構築期間が「入札実施日の翌日から令和8年12月31日まで」となっている。プロポーザルで事業者決定後にリース会社の入札を経て契約する流れだと考えるが、実際のスケジュールはどうなるのか。
事務局	プロポーザルで事業者を決定した後、その事業者とはまず協議書を交わし、仕様内容を確定させる予定である。そのうえでリース入札を実施し、リース会社、構築事業者、本市の三者で契約を締結する。構築費用はリース会社から構築事業者へ支払われ、本市は令和9年1月から5年間、リース会社へ支払っていく形を想定している。
委 員	仕様書の関連図面等の配布時期について、参加表明書提出後の配布と読める部分があるが、募集要項の記載と異なっている。整合は取れているのか。
事務局	当初は参加表明書提出後に資料を配布する想定であったが、事業者が資料を確認する期間を十分確保できるよう、希望があれば秘密保持関係書類の提出をもって早めに配布する運用へ変更した。そのため、仕様書側の記載が修正できていなかった。該当箇所は修正する。

議事録

委 員	配布期間の終期も提案書提出締切との関係で見直した方がよいのではないか。
事務局	指摘のとおりであるため、そちらもあわせて修正する。
委 員	評価基準の「付加価値と将来性」のサプライチェーンリスクの記載だが、部品供給リスクの話か、近年のサイバー攻撃上のサプライチェーンリスクの話か、分かりにくい。仮に事業者がサイバー面の対策を記載した場合、それは採点対象になるのか。
事務局	主として、機器や製造元に関する安全性の観点を想定している。サイバー攻撃については情報セキュリティ対策にて評価する想定である。
委 員	セキュリティ対策の項目で評価するのか、自由提案の項目で評価するのかが分かりづらい。
事務局	従来型の情報セキュリティ対策はセキュリティ項目で、機器調達や製造元等を含むサプライチェーン面は自由提案側で評価する想定であった。ただ、表現が曖昧であるため、誤解がないよう整理する。
委員長	この点は、提案者に誤解を与えないよう文言整理が必要である。事務局で修正を願う。
事務局	提案者に誤解を与えないよう、作成要領、評価基準の記載の見直しを行う。
委 員	一次審査 40 点のうち 30 点が価格評価というのは、価格の比重が大きすぎる。提案内容が良くても価格で不採用となる可能性があり、プロポーザルとして価格に偏重しているのではないか。
委 員	全体 100 点のうち 30 点なら分かるが、一次審査だけで見ると価格が大部分を占める。良い提案をした事業者が一次審査で不採用となるのは、機会損失であると考えてる。
事務局	今回、構築だけでなく機器調達も含むため、一定程度価格要素を重視したい考えがあった。一方で、将来の IP 電話導入を見据えた設計など、提案内容に差が出る部分もあると考えている。
委 員	プロポーザルである以上、技術面や将来性、実績の比重をもう少し上げるべきではないか。価格評価は見直すべきである。
委員長	価格配点については 15 点とし、設計・構築、セキュリティ、将来性を評価する項目の比重を増やすことでどうか。
委員長	異議なし。
委 員	仕様書はかなり細かく条件が記載されており、入札でも対応可能ではないか。なぜプロポーザルでなければならないのか、理由を確認したい。
事務局	今回は単なる入替えではなく、IP 電話導入を見据えた設計、ネットワーク全体の再設計、関係事業者間の調整など、提案によって差が出る要素がある。価格だけでなく、設計思想やプロジェクト管理能力も含めて評価する必要があるため、プロポーザルによる選定を実施したいと考えている。
委 員	特に今回は、設計の妥当性自体を見極める必要がある。それを確認するためにもプロポーザル方式が適しているという整理でよい。

議事録

委員長	予定通りプロポーザル方式として進めることとする。
委 員	マイナンバー系ネットワークの無線化は不安がある。有線の方が望ましいのではないか。
事務局	国のガイドライン改正により、マイナンバー系ネットワークの無線化は可能となっている。ただし、全端末を無線化する想定ではなく、窓口など重要な端末は有線を継続する考えである。
委 員	仕様書上、その点が読み取りにくい。現行で有線利用している重要端末は引き続き有線を前提とすることが分かるよう、明確化が必要である。
事務局	指摘のとおりである。別紙の台数表も含めて、必要最小限の有線端末を残す趣旨が明確に伝わるよう表現を修正する。
委 員	保健センターについてもマイナンバー系ネットワークの無線化に対応する記載をしてほしい。
事務局	保健センターについても追記する。
委 員	保守用のリモート回線は、専用線の方がセキュリティ上望ましいのではないか。
事務局	専用線は費用が上がる。VPN等の活用も考えられ、提案内容に応じてセキュリティ面を評価する形になる。
委 員	プロジェクトマネージャー等の兼務可否について、仕様書と様式の記載が分かりにくい。整理が必要だ。
事務局	承知した。整合が分かるよう整理・修正する。
委 員	業務実績の「同規模以上」の定義が曖昧である。
事務局	現時点では市以上の自治体規模を想定していたが、規模感が分かるよう記載方法を修正する。
委 員	業務実績の配点について、参加資格を満たした時点で点数が付く考え方には疑問がある。
委員長	本事業においては、記載のと通りの配点とする。
委 員	二次審査の前に、委員が比較しやすいよう論点整理等の説明があるとよい。
事務局	比較しやすい資料や説明方法を検討する。
委員長	委員が適切に評価できるよう、事務局で工夫を願う。
委員長	「実施要領」、「仕様書」、「審査要領」については、今回の指摘事項を事務局で修正し、修正内容を委員長が確認し問題なければ決定とする。
各委員	異議なし
3 その他連絡事項について	

議事録

委員長	その他連絡事項について、事務局から説明を受ける。
事務局	・ 今後のスケジュールの説明 第2回選定委員会は令和8年6月3日（水）10時から 第3回選定委員会は令和8年6月11日（木）10時から ・ 開催場所等は行政会議室とする。
4 閉会	
委員長	閉会のあいさつ